

可決した主な議案の内容

第73号議案 町田市鶴川緑の交流館条例の一部を改正する条例

町田市鶴川緑の交流館に設置する自転車駐車場等の利用時間及び駐車料金を設定するため、所要の改正をするもの。

第74号議案 町田市プールの衛生管理等に関する条例の一部を改正する条例

生活衛生関係営業等の事業活動の継続に資する環境の整備を図るための旅館業法等の一部を改正する法律の施行に

伴い、関係する規定について、所要の改正をするものです。

第77号議案 町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、関係する規定を整理するため、所要の改正をするものです。

第78号議案 町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例

子が2人以上いる保護者について、保育所等の利用者負担額の軽減を図るため、所要の改正をするものです。

本会議の質疑から

第73号議案 町田市鶴川緑の交流館条例の一部を改正する条例

議員 改正の目的、駐車料金について。

文化スポーツ振興部長

改正の目的については、現在、町田市鶴川緑の交流館には無料の自転車駐車場を設置していますが、施設利用者以外の方の駐車が多く、施設を利用する方が駐車できない状況が発生していることから、駐車場に利用時間及び駐車料

議員提出議案

意見書(要旨)

本定例会では意見書5件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

旧優生保護法に基づく優生手術を受けた者等に対する幅広い救済を求める意見書

旧優生保護法が96年に改正され優生手術に関する規定が削除されました。この間法律のもとで手術を受けた方は約84000人とされています。この方々に対して19年4月に議員立法で一時金の支給が開始されましたが、23年の7月末までに認定されたのは1054件しかありません。これは優生手術が20年以上前のことであること、精神障がい、知的障がい等により被害の把握に困難が伴うことも一因です。請求期限が24年4月23日と迫る中、当事者の幅広い救済に向けて国が責任を持つよう求めるものである。

内閣総理大臣ほか4件宛て 下水サーベイランス事業の実施を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、正確な感染状況が見えづらくなっている。今後起こりうる感染のピークや傾向を把握するためにも、新たな感染症に対応するためにも、「下水サーベイランス(疫学調査)」を全国の地方公共団体の下水処理場で実施すべきである。地域の感染の初期段階から兆候が分かる可能性があり、その後の感染規模や増減の傾向も把握できる。国においては、早急に、「内閣感染症危機管理統括庁」が司令塔となって、厚生労働省、国土交通省、各地方公共団体が連携して下水サーベイランス事業を全国展開することを強く要望する。

内閣総理大臣ほか5件宛て 脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー(循環型経済)の推進を求める意見書

気候変動防止に向けた脱炭素化(カーボン・ニュートラル)や、生物多様性への自然再興(ネイチャー・ポジティブ)は、人類社会を持続可能にする最重要課題であり、そのための、資源効率性の最大化と環境負荷の低減の両立を目指すし、リニア・エコノミー(直線型経済)から、サーキュラー・エコノミー(循環型経済)への転換が必要である。政府に対し、循環型経済とビジネスを新たな成長産業として位置づけ、脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミーの実現を目指し、特段の取組みを要望する。

ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価を求める意見書

交通事故、スポーツ、落下事故、暴力など全身への外傷等を原因として発症する脳脊髄液漏出症(減少症)の治療法であるブラッドパッチ療法が2016年より保険適用となった。しかし、保険適用の要件に掲げられている「起立性頭痛を有する患者に係るもの」という条件を伴わない患者がいるため、医療の現場では混乱が生じている。また、脳脊髄液の漏出部位は一箇所

とは限らず、頸椎や胸椎部でも頻繁に起こることが報告された。以上の新たな現状を踏まえ、2点において適切な措置を講ずるよう強く要望する。

018サポートの給付金を生活保護の収入認定から除外するよう調整することを求める意見書

2023年9月1日から申請が始まった東京都の「018サポート」は、都内在住の全ての18歳以下の子どもに対し、1人当たり月額5000円(年額6万円)を支給し、学びなど子どもの育ちを切れ目なくサポートする事業である。子育て世帯に歓迎される事業であるが、生活保護受給の場合は、収入認定され、その分の生活保護費が減額となることから、実質的に恩恵を受けられない実情がある。そこで、生活保護世帯について、支給額を収入認定から除外するよう可及的速やかに再調整することを求める。

東京都知事ほか1件宛て

第6回 高校生と町田市議会議員の意見交換会の開催について

今年で6回目となる高校生と町田市議会議員の意見交換会を次のとおり開催します。

日時 11月5日(日) 13時30分～16時

内容 以下のテーマに沿って意見交換をします。

テーマ①「政治を身近に感じてもらうには?」 高校生のアイデアで投票率UPを～」

テーマ②「自分が市長だったら何をやりたいか?」

※詳細は町田市議会ホームページをご覧ください。

都立小川高等学校と町田市議会議員の交流授業について

10月20日に都立小川高等学校にて、3年生を対象に開催された「町田市議会議員の仕事を知るパネルディスカッション」に各会派から代表の議員が参加しました。高校生からの、「なぜ議員になったのですか」、「今後どんな町田市にしていきたいですか」などの質問に対し、それぞれの議



議員の考えなどを話し、活発な質疑応答が行われました。

令和4年度政務活動費の収支報告

会派名	まちだ市民クラブ	公明党	自由民主党	選ばれる町田をつくる会	日本共産党	無所属	諸派(おげき重太郎、矢口まゆ)	諸派(熊沢あやり)	諸派(中川幸太郎)
所属議員数(令和5年3月31日時点)	9人	6人	5人	5人	4人	3人	2人	1人	1人
交付月数	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分
収入額(交付額)※	6,480,000	4,320,000	3,600,000	3,600,000	2,880,000	2,160,000	1,440,000	720,000	720,000
実支出額									
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査活動費	505,926	1,820,916	432,528	588,066	137,880	415,200	69,031	0	0
研修・研究・会議費	346,646	142,220	9,000	56,227	0	47,750	0	0	0
資料作成費	3,962	0	0	0	0	11,000	0	0	0
資料購入費	369,882	471,034	705,812	338,079	123,828	230,987	0	0	0
広報費	3,377,850	285,140	2,821,633	1,700,704	1,582,130	1,159,113	1,585,834	0	690,360
通信運搬費	588,857	561,442	76,413	434,522	0	318,333	0	0	0
事務費	1,303,671	676,549	208,353	490,582	426,810	125,376	0	0	22,840
合計	6,496,794	3,957,301	4,253,739	3,608,180	2,270,648	2,307,759	1,654,865	0	713,200
残余金(返還額)	0	362,699	0	0	609,352	0	0	720,000	6,800

※収入額(交付額)は、各月1日(基準日)における会派の所属議員数に、月額6万円を乗じて得た金額の月数分です。

月日	内容	傍聴者数
9月1日(金)	本会議	4
9月4日(月)	本会議	9
9月5日(火)	本会議	6
9月6日(水)	本会議	3
9月7日(木)	本会議	23
9月8日(金)	本会議	11
9月11日(月)	常任委員会(総務・健康福祉)	11
9月12日(火)	常任委員会(文教社会・建設)	34
9月13日(水)	常任委員会(文教社会・建設)	11
9月14日(木)	常任委員会(総務・健康福祉)	11
9月19日(火)	常任委員会(文教社会・建設)	11
9月21日(木)	常任委員会(文教社会・建設)	11
9月29日(金)	本会議	115

目の不自由な方のために、点字と声(カセットテープ版、デージー版)の「町田市議会だより」を発行しています。ご希望の方は、議会事務局調査法制係(☎042-724-4049)までお申し込みください。

